

「お気に入りのテクニカル指標を表示させる－２－」

先月号の続きです。シート内容の変更方法を解説していきます。

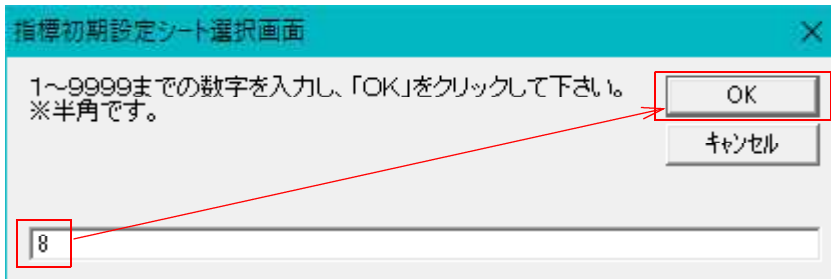
8番シートを使います。



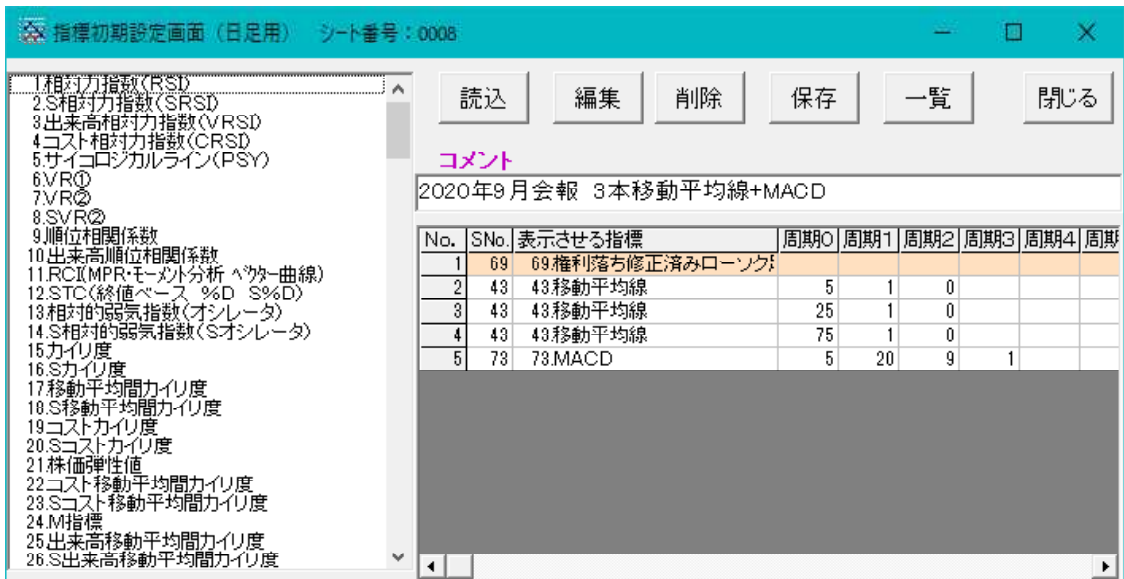
「機能」－「指標初期設定」－「シート設定」をクリックします。



「8」と入力し「OK」をクリックします。

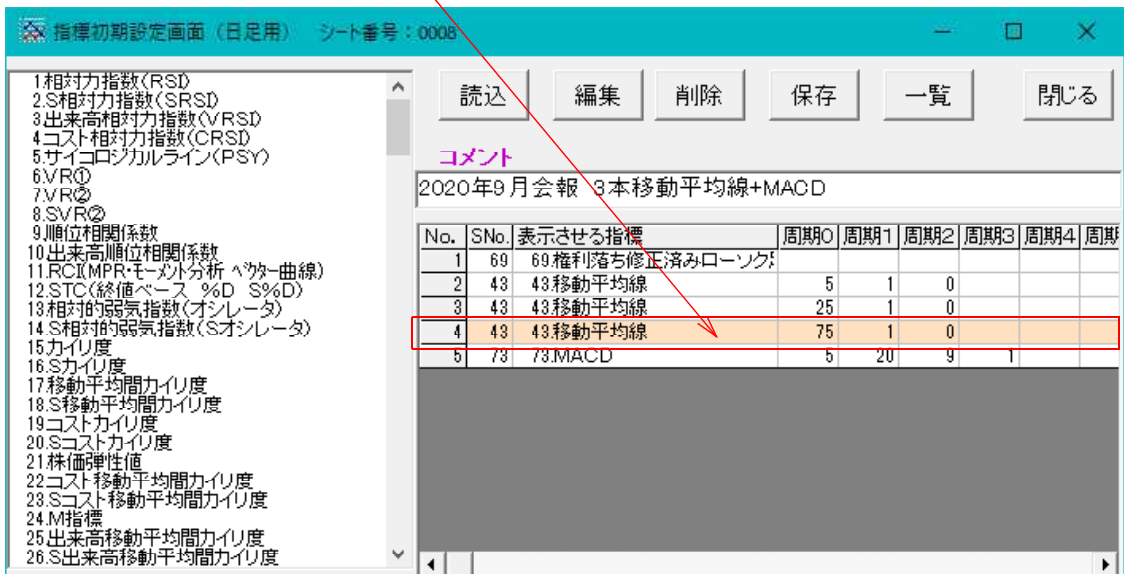


8番シートの内容が表示されます。



移動平均線の周期を変更してみます。

4番目に登録してある移動平均線をダブルクリックします。



「指標周期編集画面」が表示されます。

指標周期編集画面

変更 閉じる 重書き 目盛合わせ 目盛表示

43. 移動平均線

周期入力画面

周期入力	75
権利落 0.修正前 1.修正後	1
採用株価 0.終 1.高 2.安	0
指標線の色	167.1680

75を200と入力し、「変更」をクリックします。

指標周期編集画面

変更 閉じる 重書き 目盛合わせ 目盛表示

43. 移動平均線

周期入力画面

周期入力	200
権利落 0.修正前 1.修正後	1
採用株価 0.終 1.高 2.安	0
指標線の色	167.1680

「指標周期編集画面」が消え、下記のように200となりました。

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント
2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期
1	69	69 権利落ち修正済みローソク!						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	43	43 移動平均線	200	1	0			
5	73	73 MACD	5	20	9	1		

このままでは、まだ変更されてません。見た目だけ変更されてます。
「保存」をクリックし、

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント
2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期
1	69	69 権利落ち修正済みローソク!						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	43	43 移動平均線	200	1	0			
5	73	73 MACD	5	20	9	1		

8番になっている事を確認して「OK」をクリックします。

指標初期設定シート保存確認画面

設定した項目をシートへ書き込みます。1~9999までの数字を入力し、「OK」をクリックして下さい。※半角です。

OK キャンセル

0008

これで75→200の変更点が保存されました。

続けて表示です。保存した8番を再度読み込ませる必要があり、まず0をクリックします。



そしてあらためて8をクリックします。

このように200日移動平均線が表示されました。



ハイローバンドを追加するには、「42. ハイローバンド」をダブルクリック

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期
1	69	69 権利落方修正済みローソク						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	43	43 移動平均線	200	1	0			
5	73	73 MACD	5	20	9	1		

周期に15とし、重書き、目盛合わせにチェックを入れ、「登録」をクリックします。

登録 閉じる 重書き 目盛合わせ
 目盛表示

挿入

42. ハイローバンド

周期入力画面

周期入力

指標線の色

そして「閉じる」をクリックし、ハイローバンドの画面を閉じます。

一番下に登録されました。

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント

2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期5
1	69	69 権利落方修正済みローソク						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	43	43 移動平均線	200	1	0			
5	73	73 MACD	5	20	9	1		
6	42	42 ハイローバンド	15					

「登録」と「挿入」の違い

「登録」は、常に一番下へ登録します。

「挿入」は、色反転（カーソルが当たっている）している行の1つ上に登録されます。

「挿入」をクリックした場合、

200日移動平均線が色反転していましたので、その1つ上にこのように登録されます。

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント

2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期5
1	69	69 権利落方修正済みローソク						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
6	42	42 ハイローバンド	15					
4	43	43 移動平均線	200	1	0			
5	73	73 MACD	5	20	9	1		

この変更を表示させるには、先に解説した手順を踏みます。

「保存」をクリック→チャート画面で0→そして8をクリック

ハイローバンドが追加で表示されました。



登録した指標を削除するには、

今回はMACDをクリックして「削除」をクリック、または、

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読み込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント
2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期
1	69	69 権利落ち修正済みローソク						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	42	42 ハイ・ローバンド	15					
5	43	43 移動平均線	200	1	0			
6	73	73.MACD	5	9	1			

削除

右クリックから削除をクリックです。

このように削除されました。

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント
2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期5
1	69	69 権利落ち修正済みローソク						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	42	42 ハイ・ローバンド	15					
5	43	43 移動平均線	200	1	0			

順位相関係数と相対力指数を表示させる2つの方法

MACDを削除した後、続けて順位相関係数を登録します。

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント
2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期5
1	69	69 権利落ち修正済みローソク						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	42	42 ハイ・ローバンド	15					
5	43	43 移動平均線	200	1	0			

9. 順位相関係数をダブルクリックします。

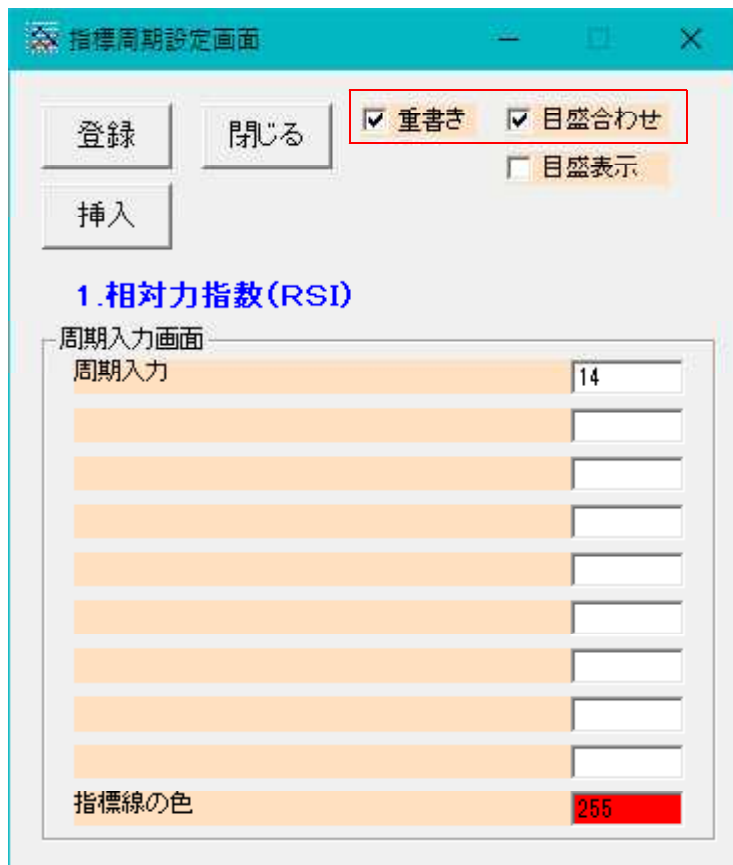
周期は9、目盛表示のみチェックをいれ「登録」をクリック、そして「閉じる」

一番下に登録されます。

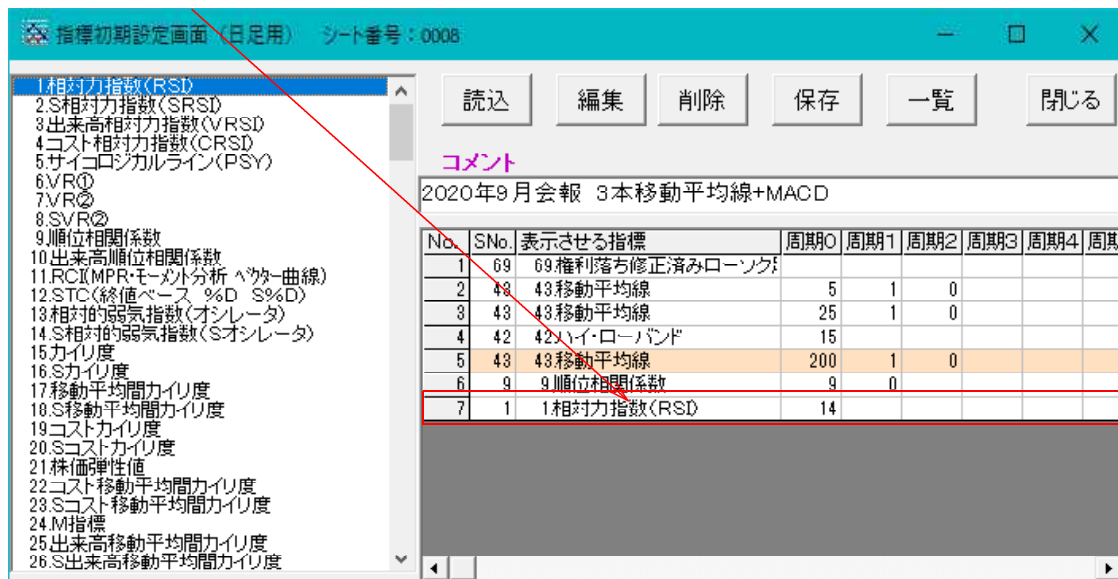
No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期
1	69	69権利落ち修正済みローソク						
2	43	43移動平均線	5	1	0			
3	43	43移動平均線	25	1	0			
4	42	42ハイ・ローバンド	15					
5	43	43移動平均線	200	1	0			
6	9	9順位相関係数	9	0				

続けて相対力指数を登録します。

周期は14、重書き、目盛合わせにチェックを入れ、色は赤にしました。
 「登録」→「閉じる」をクリックします。



一番下に登録されます。



表示させますので先に解説した手順です。

「保存」をクリック→チャート画面で0→そして8をクリック

このように表示されます。



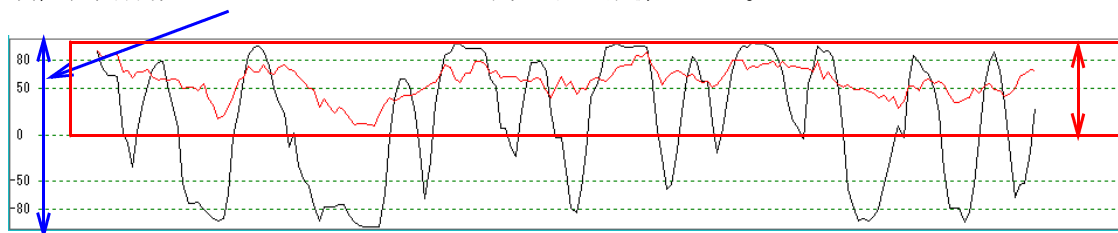
順位相関係数

相対力指数 (赤線)

表示の意味

最初に順位相関係数を登録したので、上下のレンジが100から-100となります。

順位相関係数は100から-100の間を動く指標なので。



次に相対力指数を登録しました。この時、目盛り合わせにチェックを入れました。

相対力指数は、100から0の範囲を動く指標なので、このように上半分の間での表示となります。

相対力指数も上半分ではなく、大きく表示させたい場合はこのようします。

相対力指数を変更しますので、ダブルクリック

指標初期設定画面 (日足用) シート番号: 0008

読込 編集 削除 保存 一覧 閉じる

コメント
2020年9月会報 3本移動平均線+MACD

No.	SNo.	表示させる指標	周期0	周期1	周期2	周期3	周期4	周期
1	69	69 権利落ち修正済みローソク						
2	43	43 移動平均線	5	1	0			
3	43	43 移動平均線	25	1	0			
4	42	42 ハイローバンド	15					
5	43	43 移動平均線	200	1	0			
6	9	9 順位相関係数	9	0				
7	1	1 相対力指数 (RSI)	14					

重書きと目盛り表示にチェックを入れ変更をクリック。

※目盛合わせにはチェックを入れません。

指標周期編集画面

変更 閉じる 重書き 目盛合わせ
 目盛り表示

1. 相対力指数 (RSI)

周期入力画面

周期入力

指標線の色

表示させますので先に解説した手順です。

「保存」をクリック→チャート画面で0→そして8をクリック

このように相対力指数も上半分ではなく、大きく表示されました。



上下のレンジが違う指標を登録する場合は、目盛り合わせにはチェックを入れないほうがよい場合もあります。

例えば、相対力指数とカイリ度とかです。カイリ度は、一応上下が決まっていないので、目盛り合わせにチェックを入れた場合、切れてしまいます。

基本は、同じレンジで動く指標については、目盛り合わせにチェックを入れる。
例えば、相対力指数とサイコロジカルライン

似たような指標の場合も目盛り合わせにチェックを入れる。
例えば、カイリ度と株価弾性値

カイリ度と株価弾性値を同時に表示させる場合のコツは、上下に大きく動く指標をまず登録し、その後にそれより上下に動かない指標を登録します。

例えば、カイリ度とSカイリ度です。

Sカイリ度はスムージングしていますので、なめらかな線を描きます。その分、カイリ度より上下の振幅がありません。

よって、カイリ度を先に登録し、続けてSカイリ度を登録します。

順位相関係数の周期9と周期20を登録する場合、どちらを先に登録しても構いません。同じ指標であり、100から-100と振幅が決まっていますので。